



相原 章会長 尾崎 康幹事



第2770地区 第1グループ

浦和中ロータリークラブ

2020-2021 クラブターゲット

「発見、創造、魅力あふれるクラブに！」

— 組織を創る 仲間を創る 明日を創る —



ロータリーは
機会の扉を開く

今日の例会

11月19日（木）第1431例会

例会時間：19：00点鐘

例会場所：さいたま商工会議所会館 2 階第一ホール

卓話者：地区セミナー参加の各委員長

テーマ：『地区セミナー報告』

次の例会

11月26日（木）第1432回例会

例会時間：19：00点鐘

例会場所：さいたま商工会議所会館 2 階第一ホール

卓話者：井上 彰会員・梶間順子会員

テーマ：『ロータリーを続けている 理由、その魅力！』

会長挨拶

会長 相原 章



皆さん今晚わ。11月第1例会にご出席いただきありがとうございます。本日は地区財団部門委員会の小宮委員長による卓話です。テーマは「財団の活動」ということで複雑で難しい財団の活動を易しく、面白く解説してもらいます。しかしこの手の話を易しく面白く話すことは至難の業です。小宮さんにはご期待しております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、GoToトラベルキャンペーンも第8弾となりました。今週は塩原温泉に行てまいりました。塩原温泉といえば、開湯1200年の古い歴史をもった温泉で、60件の宿に対して150もの源泉があります。この温泉の種類が多様で入り比べが楽しめる温泉となっています。この塩原温泉から日塩もみじラインを鬼怒川に抜けて日光東照宮で三匹の猿を見てまいりました。そう、「見ざる聞かざる言わざる」です。「見ざる聞かざる言わざる」って言うのは、世間のいろんなものから目をそらす、否定的な生き方との解釈は誤りであって、「こどもの時期というのは、何にでも興味が湧くもので、多感な時期でもあるので、悪いものを見たり、言ったり、聞いたりしないように、素直な心で育っていくようにという、メッセージが込められている、というのが正しい解釈だと、書かれていました。

私の場合残念ながらこの教えに度々背いて生きてきてしまったように思います。悪い意味での「見ざる、聞かざる、言わざる」です。

見ざる・・・都合の良いところだけを見て、自分に都合が悪いものは見て見ぬふりをしているのではないかな？

聞かざる・・・耳に心地よい意見は聞くが、耳に痛い意見は聞こうとしていないのではないかな？

言わざる・・・人の悪口は言っても、周りとの摩擦を避けるために本来言うべきこと、言わなければならないことを言っていないのではないかな？

そう、悪い意味での「見ざる、聞かざる、言わざる」「逃げの姿勢」です。いま私は大いに反省をしています。

日光の紅葉を愛でながら、私も美しく散りたい、そのためにも耳の痛い意見をどんどんお聞かせ下さい。

リモート出席者

吉岡淳一 会員（左）

伊田賢一 会員（右）



幹事報告

幹事 尾崎 康

・第1回オンラインRLI パートI 開催

11月28日(土) 9時開会

・地区大会開催 11月15日(日)12時着席
(川口総合文化センターリリア・メインホール)

・例会終了後、次々年度指名委員会開催



11月 Happy BIRTHDAY!

おめでとうございます！ 祝

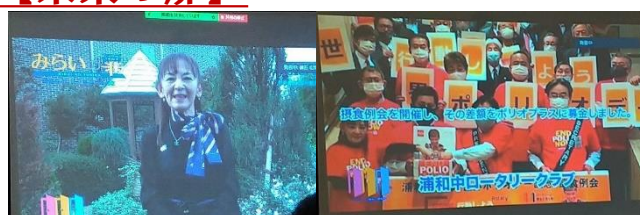
2日 尾崎 康 会員

8日 折茂 雅信 会員

28日 辻村 浩司 会員



【未来の扉】 YouTube

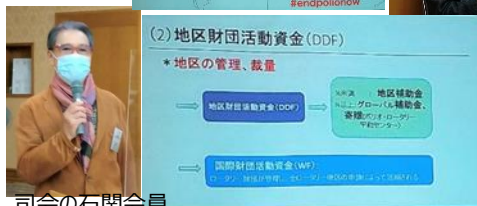
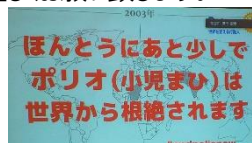


委員会報告

奉仕プロジェクト委員 辻村委員長

10月29日委員会を開催し、2月21日

日本とタイのビジネス交流会をベルヴィ武蔵野に於いて開催致します。皆様、ご協力を宜しくお願い致します。



■財団月間卓話 『ロータリー財団の活動について』

ロータリー財団部門委員長 小宮泰二 様



1916～17年度、国際ロータリーの6番目の会長であったアーチ・クラフは、1917年のアトランタ国際大会において「我々は今年、ロータリーのために基金を作る可能性について組織に呼びかけた。諸々の社会奉仕を今まで通りに実行していくには、慈善・教育・その他の社会奉仕の分野において世界でよいことをするための基金を作ることが、極めて適切であると思われる」と話しました。こうしてロータリー財団は始まり、1928年ミネソタ州ミネアポリス国際大会で、この基金はロータリー財団と改称され、国際ロータリー内の別個の存在になりました。当時、管理委員であったアーチ・クラフは次のように述べています。

「われわれはこの財団を今日明日の時点ではなく、何年、何世代の尺度で見つめるべきです。なぜなら、ロータリーは幾世紀にもわたる運動だからです」。そしてロータリー財団は、国際ロータリー理事会の同意のもとに信託宣言を作成し、1931年11月12日に信託組織となりました。その後1983年に米国イリノイ州の法令の下に非営利財団法人となりました。（この信託組織となったときに財団月間が制定されました）

ロータリー財団を構成する法人会員は国際ロータリーのみであり、正式名称は『国際ロータリーのロータリー財団』です。（The Rotary Foundation of RI = TRFと表記）

【ロータリー財団の標語】

『世界でよいことをしよう（Doing good in the world）』 アーチ・C.クラフがR財団設立の時に述べたことば

【国際ロータリー（RI）の使命】

他者に奉仕し、高潔性を維持し、事業と専門職務及び地域社会のリーダー間の親睦を通じて、世界理解・親善・平和を推進することである。

【ロータリー財団（TRF）の使命】

ロータリアンが人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることである。

このようにロータリー財団の活動というのは、国際ロータリーの使命であるプログラムを達成するために存在し、「現在はポリオ・プラス」「補助金」「平和フェローが財団」のプログラムであります。

国際ロータリーの原資が人頭分担金に対して、ロータリー財団の原資は寄付のみであります。その寄付金はキチンと管理されていてその透明性が担保されています。

1947年 財団初のプログラム「Fellowships for Advance Study（高等教育のためのフェローシップ）」を開始。このプログラムは後に「国際親善奨学金」として知られるようになります。

元国連難民高等弁務官であり、元ロータリー国際親善奨学生の緒方貞子氏に、2016-17年度ロータリー学友世界奉仕賞が贈られました。

外交官の家族に生まれた緒方氏は、第二次世界大戦後、国際関係に関心を抱き、米国ワシントンD.C.のジョージタウン大学大学院へ留学。1951年、日本人として2人目のロータリー国際親善奨学生となりました。

「ロータリー奨学生として留学中、社会奉仕の重要性を学んだだけでなく、ロータリアンの方々との交流を通じて、見識を広げ、さまざまな経験ができた」、「『超我の奉仕』というロータリーのモットーに深い感銘を受け、以来、これが私の人生の指針となってきました」と緒方氏は振り返ります。

現在では地区補助金・グローバル補助金による財団奨学金として運用されています。

1965～66年 財団が新たに「研究グループ交換（GSE）」「Awards for Technical Training（技術研修のための補助金）」「Grants for Activities in Keeping with the Objective of The Rotary Foundation（ロータリー財団の目的を果たす活動のための補助金、後の「マッチング・グラント）」の3つのプログラムを開始し、現在ではVTT・グローバル補助金となっています。

1978年「保健、飢餓追放、人間性尊重（3-H）補助金プログラム」を開始しました。

1979年 3-H補助金のプロジェクト第一号として、フィリピンの600万人の子どもたちにポリオの予防接種を実施しました。

1980年5月に天然痘が地球上からなくなるという画期的な成果があり、ロータリーはこの件で人類は病原菌に勝利できるという確信を得たため、フィリピンで猛威を振っていたポリオウイルスに挑戦をすることになりました。

1985年 全世界でポリオの撲滅をめざす「ポリオプラス・プログラム」を設置。

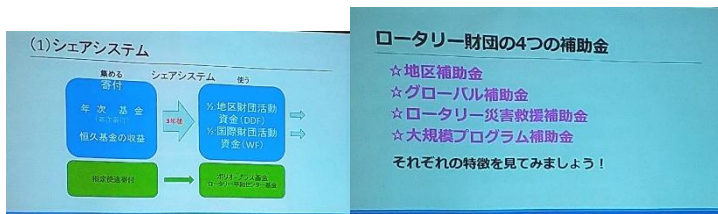
1987～88年 初めての平和フォーラムが開催され、これが「ロータリー平和フェローシップ」創設のきっかけとなります。

2013年（夢計画の開始）

世界中のロータリアンがグローバルなニーズに応えられるよう、新しい補助金モデル（地区補助金、グローバル補助金、パッケージ・グラント）を導入。

1917年に26ドル50セントの寄付から始まったロータリー財団は、10億ドル以上の寄付を受けるほどの大きな財団に成長した。財団はこうして多くの方々に支えられ、人道的分野や教育面での支援活動を続けています。

このような話でご理解いただけたか、とても自信はありませんがわからない点は私に聞いていただければ幸いです。ご静聴ありがとうございます。



「編集後記」 近年の財団のプログラムは、やたら多く難しいと言われる。流石、地区の部門委員長だけあって、小宮会員の卓話は、明解であった。話は変わるが、近年の財団プログラムが難解で多いのは、使途が多岐にわたり目的がかなり分散しているからと思う。ポストポリオの戦略とは思わく、使途をクラブまかせにするのは、良い面もあるが、その反対もあることを認識すべきと考える。（T・K）

会長：相原 章 会長エレクト・幹事：尾崎 康 クラブ管理運営・プログラム委員長：三島 泉
親睦委員長：市川浩正 会員研修委員長：辻村浩司 研修リーダー：小谷野英一 公共イメージ向上委員長：小嶋敏夫
出席報告 11月5日(木)第1429回例会

会員総数(免除)	39(4)名	本日の出席率	91.43 %
出席算定	32/35	メイクアップ	2
本日の出席	30		

例会日：毎週木曜日 19:00～20:00
例会場：さいたま商工会議所会館 2階 第1ホール
事務局：さいたま市浦和区高砂3-17-15
さいたま商工会議所会館 7階
TEL:048(838)7740 FAX:048(838)7741
ホームページ http://urawa-naka-rc.org